

城山小学校 第888回 平和祈念式 令和7年8月9日

【会次第】

1 開式の言葉 2 献鶴 3 校長講話 4 平和学習の発表(5年生) 5 児童による「平和への発信」
6 「子らのみ魂よ」合唱 7 原爆殉難者の碑に黙祷 8 少年平和像に拝礼 9 閉式の言葉

【講話】

城山小学校は、被爆校として、は80年前のあの日、一瞬にして多くの尊い命が失われた悲劇を、決して忘れてはならない場所です。そして、今年、私たちは被爆80周年という節目の年を迎えました。この80年間、諸先輩方が築き上げてくださった平和の上に、今の私たちの豊かな生活があることを胸に刻み、感謝の気持ちを新たにしています。

今年の平和祈念式では、3つの特別な鶴が、平和への私たちの思いを象徴しています。1つは、先輩方から受け継いだ私たちの折り鶴。2つ目は、昨年度から一層深い交流を続けている、はるか遠くイタリアの子供たちから贈られた、平和を願う折り鶴。遠く離れた国の子供たちが、慣れない手つきで今年も心を込めて折ってくれた鶴は、国境を越えた平和への願いの証です。3つ目は、長年にわたり毎月の平和祈念式に千羽鶴を献鶴して下さっている地域の方の温かい思いが込められた十四束もの千羽鶴。これらの鶴に込められた願いと、城山小学校のみなさんたちの平和を願う気持ちは、年々、強い発信へとつながっています。学校の合言葉「ピース飛び交う、日本一楽しい学校をつくろう」には、単に学校の中だけでなく、平和の心を世界へと広げたいという強い思いが込められています。

被爆80周年という節目の時に、改めて「ピース飛び交う、世界にしよう」と広い世界に目を向け、私たち一人一人が、自分にできること、友だちとできることを真剣に考えること、そして、幸せで希望あふれる平和な未来をつくるために行動していくことが城山小学校に関わる私達の役割です。「平和は城山から」…皆が共にその実現に向けて力を尽くすことを、今日、改めて誓いましょう。

【平和への誓い】

- (1-1) みんな大すき えがおいっぱいねんくみ
- (1-2) みんななかよし たのしいくみ
- (1-3) 「ありがとう」のことばで えがおいっぱいにします
- (2-1) あいての気持ちを考え、たすけあいます
- (2-2) みんなゆずりあい けんかをしないねんくみ
- (2-3) ゆずりあい、やさしい気持ちでかわります
- (3-1) やさしさと思いやりあふれる 笑顔いっぱいの三の一にします
- (3-2) やさしさと明るい笑顔で平和な心を広げます
- (3-3) ふわふわ言葉と正しい行動で 心も体も安心できる学級にします
- (4-1) みんなと仲良く協力し 平和の思いを伝えていきます
- (4-2) 平和な世界をつくるために 優しい言葉づかいで人と接します
- (4-3) 未来へと平和のバトンつなげよう
- (5-1) 命には順番はない みな平等
- (5-2) 平等に助け合い 平和の大切さを伝えていきます
- (5-3) 分け合おう 平和な時間 城山で
- (6-1) 一人一人が相手のちがいを認め合い、みんなの笑顔を守りぬこう
- (6-2) 一人ひとりが思いやりの心を持ち、友だちと絆を深めるスマイル6の2
- (6-3) 個性を認め合い 誰一人取り残さない6の3



これらの「平和への誓い」を実現するため私たちは、「平和は城山から」を合い言葉に城山小学校から、平和への発信を続けていくことを誓います。

【5年生の発表の様子】



【長崎平和祈念式典】

今年は、長崎平和祈念式典に5、6年生の代表70名が参加し、山里小と合同合唱を行いました。曲名は、福山雅治さんの「クスノキ」。6月中旬から練習を始め、夏休みもほぼ毎日練習を重ねた歌。いつのまにか「クスノキ」がみんなの心をつなぐ大切な宝物になっていました。8月9日は、みんなで「平和への祈り」を込めて歌うことができました。大きな拍手を浴び、大満足。みんなで心を合わせて歌うことの心地よさ味わい、ますます平和の尊さを実感した子供たち。これからも、学び続け、平和を発信する覚悟です。

【合唱「子らのみ魂よ」の様子】

